マルメロの陽光（1992）

EL SOL DEL MEMBRILLO
THE DREAM OF LIGHT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スペイン
色彩 Color
時間 139分
初公開日 1993/04/10
公開情報 フランス映画社

【解説】
長篇二作目の「エル・スール」から１０年の沈黙後（驚くべきことにこの寡作の作家は、そのデビュー作「ミツバチのささやき」から第二作の完成までに１０年の歳月を要している）、ようやくエリセが放った、絵画の芸術に関する透明な考察。主人公は実在の画家Ａ・ロペスで、“マドリッド・リアリズム”と呼ばれる潮流の旗手。エリセその人にも重なる童顔の純粋な瞳をした小柄な初老の男だ。スペイン内線勃発の’３６年生まれで、これもエリセ同様、一作に平気で２０年かけても真実の把握を究めようとする気迫の篭った彼の絵は具象でありながら抽象を遥かに凌駕する。そのロペスがいまだ描き切れず、毎年秋になると挑戦する課題がマルメロと言う柑橘類の実。陽光を浴びて黄金色に染まるその美しさを、納得ゆく形で表現できないのだ。小さな庭に生えた木にたわわに実るマルメロの一部に的を絞り、幾度も計測し、描く位置を修正、完璧さを目指してロペスは絵筆をとるのだが……。そんな彼を優しく見守る愛妻でやはり画家のマリア・モレノ、娘のマリアとカルメン、親友の抽象画家エンリケとのやりとりを織りまぜながら、その半生の回想や画業の紹介を交えて、ロペスのささやかだが崇高な表現活動を記録していく。“この小さな庭には世界のすべてがある”と’９２年のカンヌでも絶賛され、審査員賞と批評家協会賞をダブル受賞した、エリセの至福の映像詩。

【クレジット】

監督	ヴィクトル・エリセ	Victor Erice
製作	マリア・モレノ	
原案	ヴィクトル・エリセ	Victor Erice
	アントニオ・ロペス＝ガルシア	
脚本	ヴィクトル・エリセ	Victor Erice
撮影	ハビエル・アギーレサロベ	Javier Aguirresarobe
	アンヘル＝ルイス・フェルナンデス	
音楽	パスカル・ゲーニュ	Pascal Gaigne
出演	アントニオ・ロペス＝ガルシア	
	マリア・ロペス	
	カルメン・ロペス	
	マリア・モレノ	
	エンリケ・グラン	
	ホセ・カルテロ	
	エリザ・ルイス	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.